

北海道浮魚ニュース

平成 31 (2019) 年度 2 号

2019 年 4 月 26 日

道総研 水産研究本部 函館水産試験場

ホームページ : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎第 1 回日本海スルメイカ長期漁況予報発表される

4 月 26 日、第 1 回日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されたので概要をお知らせします。今回は本州各府県を主な対象とした漁期前半 (5 月~7 月) の予報です。

なお、この予報は水産研究・教育機構と日本海側道府県水産研究機関が参画し、日本海区分水産研究所がとりまとめを行いました。詳細は以下のホームページからご覧になれます。

水産研究・教育機構 (<http://www.fra.affrc.go.jp/>)

日本海区水産研究所 (<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>)

「我が国周辺の水産資源の現状を知るために」 (<http://abchan.fra.go.jp/>)

今後の見通し (2019 年 5 月~7 月)

対象魚種 : スルメイカ

対象海域 : 日本海沿岸域

対象漁業 : 主にいか釣り漁業

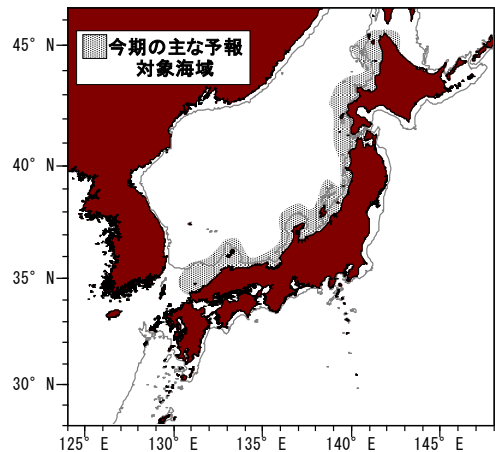
対象魚群 : 主に秋季発生系群

(1) 来遊量 : 前年並で近年平均を下回る。

(2) 漁期 : 近年同様

(3) 漁場 : 石川県以北

※近年とは過去 5 年 (2014 年~2018 年)



・2019 年 4 月に実施したスルメイカ新規加入量調査の結果では、今期漁獲対象になると予測される外套背長 5cm 以上のスルメイカの 1 調査点当たりの採取尾数は 9.0 尾で、前年 (10.7 尾) および、近年平均 (17.0 尾) を下回った。

・2018 年 10 月~11 月に実施したスルメイカの幼生分布調査では、幼生の分布密度は 2017 年並であり過去 5 年 (2013 年~2017 年) 平均を下回った。

・平成 31 年度第 1 回日本海漁況予報では、スルメイカの漁場形成に影響を与える 4 月中旬~6 月の表面水温と 50m 深水温は、共に平年よりも「やや高め」と予測されている。

・2018 年 5 月~7 月の小型いか釣り等によるスルメイカ (生鮮) の漁獲量は、道北・道央で過去 5 年 (2013 年~2017 年) 平均並であったほかは、過去 5 年平均を下回った。

今後の北海道日本海へのスルメイカ来遊状況に関しては、函館水試調査船金星丸により実施する 5 月下旬の日本海北上期調査および 6 月下旬の日本海漁場一斉調査の結果も参照して下さい。また、漁期後半については 7 月に第 2 回日本海スルメイカ長期漁況予報が発表される予定です。その他の情報とともに、随時浮魚ニュースでお知らせします。

(函館水産試験場調査研究部、TEL : 0138-83-2893、FAX : 0138-83-2849)